



ニュースを使った 日本語教育の再考

～中上級学習者への授業報告～

川崎 加奈子（長崎外国語大学）

日本語教育学会第1回研究集会（九州・沖縄地区）
2011年6月4日 於：立命館アジア太平洋大学

1. はじめに

❧ 「聴解のための教材に
テレビニュースを利用」

古典的

❧ インターネットの動画サイト
一方的な聴解 → 自律学習へ



❧ 自分の授業

学習者

学習者の
生活環境

教室設備

迷い&戸惑い

2. 教師の迷い

①何を見せるか。

- ・ 内容による到達目標 ⇔ ニュースの選定
- ・ 微妙な問題をどのように説明するか
(学生のわだかまりは?)

②解説できるか。

ジャーナリストではない自分が？

ニュースを理解するための背景が必要

2. 教師の迷い

③何のために見せるか。

日本語聴解以外の、「情報を得る」ことの意味

④どれだけの準備ができるのか。

- ・ 語彙表、スクリプト、ワークシートの作成
- ・ ニュースの編集

3. 授業の概要

対象：

- 2010年度秋学期
長崎外国語大学 短期留学生（半年or 1年間）
- 上位2番目のレベル（8レベル中）
- 中国：18人、韓国：2人
- 学生の生活環境：
大学の寮。各部屋にTVを所有せず。

授業の位置付け：

4技能 読む「日本語上級読解」
書く「日本語文章表現」
話す「上級総合日本語」
聞く「情報日本語」

必修

4. 授業の詳細

①漢字テスト

- ・ 前週のキーワードから漢字語彙10問
- ・ 「一週間の気になったニュース」

②前週の「気になったニュース」ランキング発表

③ニュース視聴

- ・ 月～金のNHKニュース 9
- ・ 3～10分通し
- ・ (1)と(2)は必須
- ・ (3)と(4)はごく一部

- (1)アナウンサーが原稿を読む
- (2)専門家・市民のインタビュー
- (3)キャスターの生の意見
- (4)キャスター・ゲスト生の対話

スピード

文字・字幕

4. 授業の詳細

- ④語彙リスト（ひらがな）配布（30～40語）
 - ・各自で、文脈に合う漢字に変換
 - ・学生がWBに板書
- ⑤2度目の視聴
止めながら、語彙・表現・内容の確認
- ⑥3度目の視聴
 - ・通し
- ⑦情報捕捉
 - ・関連新聞記事配布
 - ・雑誌『アエラ』のキャッチコピー紹介
 - ・ニュースで見なかった話題

4. 授業の詳細

《授業中に視聴したニュース》

- ・中国人権活動家ノーベル平和賞受賞
- ・チリ鉱山事故から全員救出
- ・冬到来
- ・ロシア大統領国後島訪問
- ・日本企業の外国人採用急増
- ・北朝鮮の韓国砲撃
- ・白鳳関に土、市川海老蔵暴力事件、
 - ・流行語大賞
- ・年末年始の話題
- ・幻のクニマス発見
- ・8月9日(長崎原爆投下)

《アエラのコピーから》

- ・33人、きっちり救出！
- ・日本の領土とは、露知らず？
- ・コリャ、大変だ。
- ・「センっカクの映像だから」
- ・さかなクンから、
 メリー・クニスマス！
- ・アユーーhappy？

4. 授業の詳細

※中間テスト・期末テスト

- ・ ニュース視聴しながらスクリプトの穴埋め
- ・ 語句の説明
- ・ 内容理解確認の設問
- ・ ニュースの要約
- ・ 県名の地図上の位置 など

中間テスト平均点：83点

期末テスト平均点：85点

5. 迷いへの答え（解決策）

①何を見せるか。

- ・ 内容による到達目標 ⇔ ニュースの選定
- ・ 微妙な問題をどのように説明するか
(学生のわだかまりは?)

答え：その1週間にあったものを見せる

- ・ 何を視聴するかわからないことが“売り”
- ・ 「今日は何のニュース？」予想する
- ・ 「ニュースではこう言っている」「私はこう思う」「自分の意見を大切に」

5. 迷いへの答え（解決策）

②解説できるか。

ジャーナリストではない自分が？

ニュースを理解するための背景が必要

答え：できない。

- ・ 教師は普通の日本人であり、解説者ではない。
- ・ 情報量 教師＜学生、学生＞学生

③何のために見せるか。

答え：今、このときに日本にいることの意味

- ・ 日本にいる間にしかできないものを見聞きする
- ・ ニュースを知ることによって日本人との話題が広がる

5. 迷いへの答え（解決策）

④ どれだけの準備ができるのか。

- ・ 語彙表、スクリプト、ワークシートの作成
- ・ ニュースの編集

答え：未解決

- ・ できる範囲で
- ・ 語彙表廃止へ（遠藤1988）
- ・ ビデオからブルーレイへ

《参考》授業アンケート結果

もっと難しく

だんだん身の近の
ことを注目する

新聞のつまらないニュースが
面白くなる

字幕のないところま
でふれたほうがいい

いろいろな分野の知識
を教えてくれた

言語だけでなく考え方も
勉強になった

宿題を下して

授業のおかげで毎日たく
さんのニュースを聞くよ
うになった

日本語の実力もじょ
うずになったし、日
本についてももっとわ
かった

自分が見たニュースは発表
があったほうがいい

いろいろなことが知った。
いい勉強になった。

難しかった。同じニュースを
3,4回聞きたかった

みんなの意見を聞いた

同じニュースを何度も聞くのは
ちょっとつらい

授業が好き

楽しかった

ニュースの原稿が配られ
ればもっといい

聴解能力が上達できる

一番役に立った授業

7. 課題

☞ 聴解力がついたのか？

「日本語聴解」？「時事日本語」？

「日本事情」？

☞ ボトムアップ ⇔ トップダウン

→ 現在改善中？

☞ 受信 ⇔ 発信

(学生は発信をしたがっている)

☞ インターネットによる情報革命

モチベーション

「その時」のもつ意味の大きさ

“人生の1頁”

参考資料

- ❧ 市川智子（1990）「上級聴解クラスにおけるテレビ報道番組ビデオの利用—米国国務省日本語研修所の場合」『日本語教育』73号p.127-139
日本語教育学会
- ❧ 遠藤裕子（1988）「大学生のための聴解—ニュース番組の特集を利用して—」『日本語教育』64号p.109-121 日本語教育学会
- ❧ 土岐哲（1987）「聞き取り基本練習の範囲」『日本語教育』64号p.27-43
- ❧ 中野真規子（2004）「ニュース教材を利用した聴解実践研究」『日本語教育実践研究』創刊号p.181-188
- ❧ 高橋亜紀子（2008）「自立的な学習を促す授業のデザインと教師の役割」日本語教育世界大会予稿集3 p.158-161
- ❧ 高橋亜紀子（2007）「ニュースサイトを利用した聴解授業の実践とその評価」日本語教育方法研究会 vol.14 No.2
- ❧ 村上吉文（2008）「動画ニュースを使った授業の一例」（インターネットサイト『むらログ日本語教師の仕事術』）
- ❧ 細川英雄編（2002）「言葉と文化を結ぶ日本語教育」凡人社